



会期 平成31(2019)年
1月5日(土)～2月11日(月・祝)
会期中無休

まもなく開幕!
開会式情報、主要作品解説、
特別メニューなど追加しました。

開館時間 9:00～17:00

※金曜日は19:00まで、入場は閉館の30分前まで
※1月5日(土)は10:00開場

料金 一般 1,200円 (1,000円)
高・大学生 800円 (600円)
小・中学生 500円 (300円)

※()内は前売り・20名以上の団体料金



- JR広島駅より約1km ●広島城より約400m
- 市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車20m
- ひろしまめいぶる～ぶ(市内循環バス、JR広島駅新幹線口のりば発着)「県立美術館前」下車(白島線沿い)



広島県立美術館

Hiroshima Prefectural Art Museum

【開会式情報】

次の通り、「サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法」の開会式を行います。
報道各位におかれましては、取材・広報にご協力いただきますようお願いいたします。
日時：平成31年1月5日(土) 午前9時30分～
場所：広島県立美術館 3階企画展示室入口 ロビー
内容：主催者紹介・挨拶、来賓紹介、テープカット、内覧

【開催趣旨】

フランスを代表するポスター作家、レイモン・サヴィニャック(1907-2002)。シンプルな造形とあざやかな色彩、ユーモアに満ちた表現で、瞬時に人の心を射抜く彼のスタイルは、第二次世界大戦後、フランスにおけるポスターの伝統を一新しました。

出世作となった《牛乳石鹸モンサヴォン》が認められたのが41歳と、ポスター作家としての出発は決して早くはなかったものの、その後ダンロップ、ミシュラン、シトロエンほかヨーロッパの錚々たる企業のビジュアル広告を次々と手がけ、日本企業の広告も制作しました。

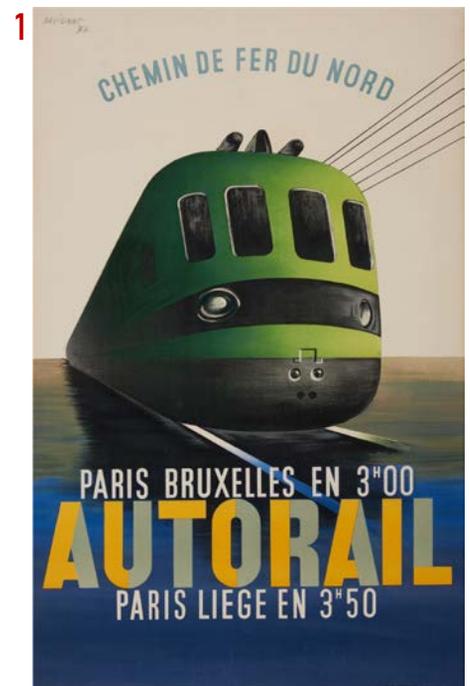
本展では、縦3メートル以上に及ぶ迫力の大型ポスターから、ポスターが並ぶ当時の風景写真、貴重な原画や資料まで、約200点を通して、ユーモアとエスプリあふれる作風でパリの街角を彩ったサヴィニャックの世界をご紹介します。

【展覧会の構成】

I ポスターの魔術師サヴィニャックが誕生するまで

- 1 幼年期～ポスターに魅入られるまで
- 2 カッサンドルに学ぶ
- 3 戦時中・戦後の時代
- 4 サヴィニャックと出版物

子ども時代の写真などの資料、カッサンドルのもとでの修業時代の作品などを通して、サヴィニャックがポスター作家として成功するまでの道のりを辿ります。また、ポスターだけに留まらない、雑誌や書籍の表紙などデザイナーとしての幅広い仕事もご紹介します。



《北部鉄道:ディーゼル特急》
1937年 パリ市フォルネー図書館蔵

press release

II 10の項目から見つめるサヴィニャックのポスター

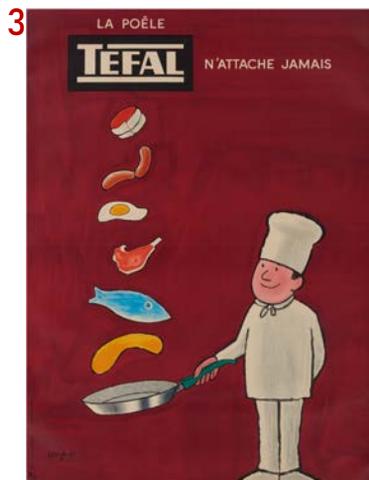
サヴィニャックのポスターは、シンプルな造形と鮮やかな色彩、何よりかわいらしいイラストとそこに込めた陽気なユーモアでそれまでのポスターの伝統を刷新し、多くの人々に愛されてきました。

本展では、代表作を含む数々のポスターを、年代順ではなく、描かれたモチーフごとに10の項目に分けて展示します。時に複数の作品でくりかえされるサヴィニャック独自のユーモアあふれる表現には、「メッセージを簡潔に伝える」というデザインの理念を追求しつづけた作家の、優れたアイデアを見ることができます。

リトグラフの技法で刷られた、約3×4メートルにも及ぶ色鮮やかな大型ポスターは必見。木村伊兵衛やロベール・ドアノーらによって撮影された当時の景観写真もあわせてご覧いただければ、サヴィニャックのポスターが貼られた20世紀パリの街角にタイムスリップしたかのような気分になれることでしょう。



《牛乳石鹸モンサヴォン》
1948/50年 パリ市フォルネー図書館蔵



《ティファール・フライパンは絶対焦げつかない》
1960年 パリ市フォルネー図書館蔵



《ドップ: 清潔な子どもの日》 1954年 パリ市フォルネー図書館蔵



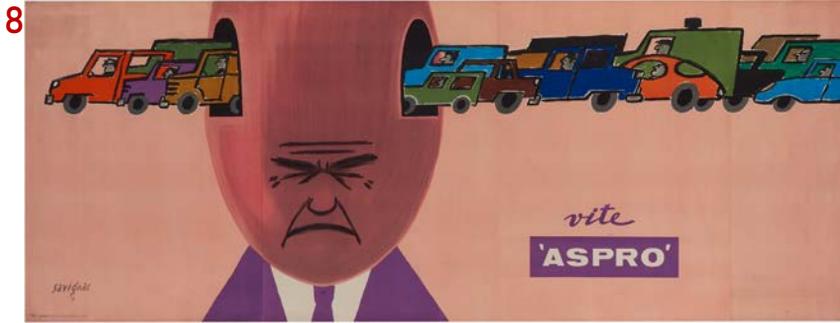
《ひとりでに編めるウット毛糸》
1949/51年 パリ市フォルネー図書館蔵



《フリジェコ: 良質の冷蔵庫》
1959年 パリ市フォルネー図書館蔵



《ルノー4》
1963年 ティエリー・ドゥヴァンク・コレクション



《早く！アスプロ(鎮痛剤)》1963年 パリ市フォルネー図書館蔵



《ジターヌ》
1954年 パリ市フォルネー図書館蔵



《ビック:新しいボール(スイス版)》
1960年 パリ市フォルネー図書館蔵



《1951年、パリ誕生2000年記念》
1951年 パリ市フォルネー図書館蔵

【主要作品解説】

2. 《牛乳石鹸モンサヴオン》1948/1950年

「わたしは41歳の時、モンサヴオン石鹸の牝牛のおっぱいから生まれた」とサヴィニャック自身が語るように、彼のポスター作家としての道を大きく切り開いた作品です。1949年、友人ベルナール・ヴィルモとの二人展に出品した原画が、広告コンソーシアム社(ロレアル社傘下の広告代理店)創設者のウージェーヌ・シュレールの目に留まり、すぐにポスターになって街中に貼り出されました。洗浄剤という本来の用途に加え、生活の質を上げる嗜好品としての価値、すなわち天然素材で身体に優しいという製品の特長を、牝牛のおっぱいから出た牛乳がそのまま石鹸になるという簡潔な表現で見事にアピールしています。

4. 《ひとりでに編めるウット毛糸》1949/1951年

ポスター下部に書かれたブランドのキャッチフレーズ“Les laines d'Aoust se tricotent toutes seules”は、「この毛糸はとても編みやすい」という言い回しですが、サヴィニャックは“toutes seules”を「ひとりでに(=毛糸が自分自身を)」編める、と直接的に解釈した状況を絵にしました。彼はしばしばこうした言葉遊びも作品に取り入れています。当初のアイデアでは、この人物は頭から編み進め、あとは脚一本を編むだけ、という状態でした。しかし両腕を上げ、頭のでつぺんを編む姿に変えることで、下から上へと向かうダイナミックな動きが出たと、サヴィニャック自身もこの変更には満足しています。

5. <ドップ:清潔な子どもの日> 1954年

ドップは、ロレアル社が販売するシャンプー。今よりも衛生観念が低かった当時のフランスで、毎日シャワーを浴び、身体を清潔に保つことを呼びかけたポスターです。笑顔のゾウと子どもが、シャワーを浴びることの楽しさを伝えています。雑誌『パリ=マッチ』に掲載された写真から、アイデアスケッチの段階ではゾウが黄色であったり、帽子をかぶっていたり、首にリボンをつけていたことがわかります。本作にみられるシンプルな造形、色彩は、サヴィニャックの試行錯誤の結果なのです。

8. <早く! アスプロ(鎮痛剤)> 1963年

大きく描かれた男性の辛そうな顔が、強烈なインパクトを与えます。辛い頭痛を、頭に空いたトンネルを無数の車が通り抜けていく様子で表現しました。鎮痛剤を宣伝したこの作品で、サヴィニャックはフランスの権威あるポスター賞、マルティニ大賞の金メダルを受賞します。薬の効果による痛みの軽減ではなく、痛みそのものを表現した斬新さが評価されました。当時フランスで問題となっていた車の渋滞を「頭痛の種」としているところにも、サヴィニャックの皮肉なユーモアセンスが光ります。

【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。

※画像については提供が可能です。ご掲載の際に画像をご入り用の場合は、当館までお問い合わせください。

※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館までご提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。

【関連イベント】

講演会（共催：広島県立美術館友の会）

「サヴィニャック：魔法のひみつ」

日時：1月26日（土） 13時30分～15時 [開場13時]

講師：植木 啓子（大阪新美術館建設準備室 研究副主幹）

場所：地階講堂（先着200名）

※事前申込不要 ※聴講無料

ワークショップ

「自分を伝えるロゴタイプを作ろう」

日時：1月27日（日） 13時～17時

講師：野村 勝久（グラフィックデザイナー・本展広報物デザイン制作）

場所：地階講堂（先着15名・高校生以上）

※要事前申込 ※参加費無料 [電話番号：082-221-6246（当館）1月17日（木）締切]

【お知らせ】定員満了となりました。多数のお申し込み、ありがとうございました。

press release



【関連イベント】

美術講座

ポスターの街・パリとサヴィニャック

日時：2月3日(日) 13時30分～15時 [開場13時]

講師：森 万由子(当館学芸員)

場所：地階講堂(先着200名)

※事前申込不要 ※聴講無料

学芸員によるギャラリートーク

日時：1月11日、1月25日、2月1日(金) 各日11:00～

1月18日、2月8日(金) 各日17:00～

※入館券をお求めの上、会場入口付近にお集まりください。

ウェブレポーター大募集

日時：1月11日(金) 17:00～18:30

場所：3階ロビー

対象：インターネットを通して本展PRにご協力いただける一般の方

※事前申込不要。実施当日に限って本展にご招待します。

ロビーコンサート

「パリの街角で～ マヌーシュ ジャズ」

日時：1月19日(土) 12:00～

演奏：TONTON TRIO

会場：1階ロビー

※事前申込不要 ※鑑賞無料

《広島市映像文化ライブラリー関連上映》

サヴィニャックがポスター制作に関わったロベール・ブレッソン監督作『ラルジャン』、影響を受けたといわれる喜劇映画の中から、『ロイドの巨人征服』をピアノ生演奏つきで上映します。

■「ラルジャン L'Argent」

日時：1月12日(土) ①14時～ ②18時～

鑑賞料：無料

■「ロイドの巨人征服 Why Worry? (生演奏付サイレント映画上映)」

日時：1月13日(日) 14時～ ピアノ演奏：小林 知世

鑑賞料：大人380円、シニア(65歳以上)180円、高校生180円、小・中学生無料

※いずれも会場は広島市映像文化ライブラリーとなります。

press release

【公式図録】

先行会場でも大人気の本展図録が、第60回全国カタログ展にて、日本マーケティング協会賞／審査員特別賞(松永真賞)銀賞を受賞しました。



公式図録:パリにかけたポスターの魔法

サヴィニャック
パリにかけたポスターの魔法
SAVIGNAC
l'enchanteur

【県美×現美×ひろ美 相互割引】

「サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法」の会期中、3館で相互割引を実施！下記いずれかの特別展チケット(半券可)を受付にご提示いただくと、本展当日料金より100円割引。詳しくは各館にお問い合わせください。※1枚につき1名様限り、他の割引との併用はできません。

広島市現代美術館(南区比治山公園1-1/TEL 082-264-1121)

松江泰治 地名事典 | gazetteer

2018年12月8日(土)～2019年2月24日(日)

ひろしま美術館(中区基町3-2[中央公園内]/TEL 082-223-2530)

シャルル＝フランソワ・ドービニー展 ゴッホが愛した風景画家

2019年1月3日(木)～3月24日(日)

【特別メニュー】

1階 Zona ITALIA in Centro(ゾーナ イタリア イン・チェントロ)

フランス北西部ノルマンディの港町、トゥルーヴィル・シュル・メールは、ポスター作家“レイモン・サヴィニャック”が晩年を過ごした町です。海岸沿いの町らしく、新鮮な魚介類の水揚げが多く、本展の料理も魚介類をふんだんに使いました。海老、イカ、タコ、ムール貝に野菜を加えてグリルし、食材に焼き目を付けているので、海老の殻の焼ける香りが食欲をそそります。見た目もおしゃれで、フランスのレストランの雰囲気をお楽しみいただける特別メニューは、サヴィニャック展会期中期間限定で提供いたします。

3階 ティールーム 徒夢創家(トムソーヤ)では、特別メニューを2点ご用意しました。「パリの街角～可愛いミニクロセット」はカフェでちょっとつまんで小腹に効く、ミニクロワッサンとお好みのドリンクで、追加オーダーも可能なセットメニュー。もう1点は、「パリの街角～マシュマロ・オレ」。シナモンの香りとかき混ぜるごとにマシュマロがトロリと溶けて、優しい甘さが広がり、見た目も可愛い大人のアレンジカフェです。いずれもご観覧後には外せない特別メニューは、特別展に先行して(2019年1月2日～)提供開始いたします。



トゥルーヴィル・シュル・メールの市場より魚介のグリル



右下:「パリの街角～可愛いミニクロセット」
左上:「パリの街角～マシュマロ・オレ」

press release



【縮景園連携】

ワンコイン縮景園 本展入館券のご提示により、100円で縮景園にご入園いただけます。

【開催概要】

メインタイトル：サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法

英語名：SAVIGNAC the enchanter: Magical World of a Parisian Poster Artist

料金：一般 1,200(1,000)円 高・大学生800(600)円 小・中学生500(300)円

※()内は前売り・20名以上の団体料金

※学生券をご購入、ご入場の際は学生証のご提示をお願いします。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者
(1名まで)の当日料金は半額です。手帳をご提示ください。

前売券販売所：広島県立美術館、セブンイレブン(セブンチケット 069-235)、広島市・呉市内の主な
プレイガイド、画廊・画材店などで販売しています。

開催クレジット

主催：広島県立美術館、イズミテクノ、中国放送、読売新聞社 美術館連絡協議会

後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、
FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz

特別協力：パリ市

協力：日本航空

特別協賛：大日本印刷

協賛：ライオン、損保ジャパン日本興亜、サントリーコミュニケーションズ株式会社、大和証券、
リベラ株式会社、大田鋼管、広島県信用組合

企画協力：DNPアートコミュニケーションズ

問い合わせ先：広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22 TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail m-kaminishis4677@pref.hiroshima.lg.jp (上西宛)または、iroeuma2@gmail.com

担当：学芸課 森 万由子

広報担当：総務課 上西 真由美 一色 直香